気持ちを切りかえて前を向こう！

令和２年４月２８日

１９６３年から続いてきたインターハイが新型コロナウイルス感染拡大のため、初めて中止になりました。多くの人達の健康、安全を守るための決断とはいえ、たいへん残念です。運動部に入っている多くの諸君にとって、本当につらい決定だったと思います。

高校生のスポーツの世界でインターハイはオリンピックのようなものです。毎年、異なる県でいくつもの競技が開催されます。福岡と異なる文化や方言、地域を上げた歓迎に触れる瞬間、勝負の世界から離れたスポーツの良さを感じることができます。全国大会を決めたときの喜びや安心感は、ジワジワとこみ上げ、例えようがありません。また、努力してきた人ほど負けたときの悔しさや悲しみは大きく、耐えがたい感情を生みます。これは、経験した人だけにしか味わうことができません。

多くの高校生は、全力で勝負した結果、勝っても負けてもそこで感じた感情を糧として人生を切り開くたくましさを身に付け、成長していくように感じます。

しかし、今年の日本中の高校生や中学生は、誰一人として喜びも負けた悔しさも感じることができません。４月の緊急事態宣言以降、大会の実施について関係の会議が行われてきましたが、コロナウイルスには勝てませんでした。

新宮高校では、３年生がこのまま引退となることがないよう、コロナの被害がおさまり誰もが安心して活動できるようになった時にできる取組を考えています。

今年は世界中のスポーツ選手がコロナウイルスの影響で、力を発揮する場を失っていますが、多くの人達を勇気づける応援メッセージを発信しています。私たちも立ち止まらず、気持ちを切り替えて、この時期にしかできないことを考え、前向きにがんばって行きましょう。